



### ◎GIGAスクール構想の下でのパソコンの活用が進んでいます

令和3年度の始めから、二宮町の小中学生に対して、一人1台のタブレット型パソコンが貸し出され、ICT機器を使った授業が本格化しています。

文部科学省は「Society5.0時代を生きる子供たちに相応しい、誰一人取り残すことのない公正に個別最適化され、創造性を育む学びを実現するため、『1人1台端末』と学校における高速通信ネットワークを整備する。」とGIGAスクール構想を定義し、来るべき高度情報通信社会への対応を行っています。

しかし、いくら機器が整備されても実際にそれを扱う生徒や教師が、使いこなさなければ意味がありません。本校では、町のICT支援員さんの研修を教師も生徒も受け、使い方を学んだ後、授業やその他の活動に取り入れました。

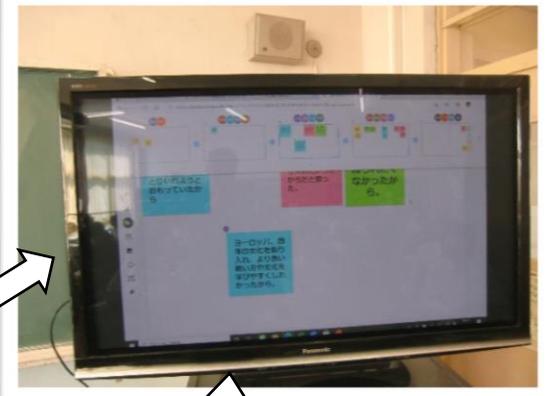
授業においては、ネットでの検索のみならず、お互いの意見をパソコン上でのやり取りしたり、プレゼンテーションソフトで発表原稿をまとめたりなど、様々な活用方法を実践しています。また、理科の実験を動画で撮影し考察に役立てたり、生徒総会では各委員会の議案書をパソコン上で見られるようにして会議を進めたりなど、今まで考えられなかった活用がなされています。

このように、大変便利で学習効果も高いタブレット型パソコンですが、使い方を間違えると、遊びになったり、目的外使用などをしかねません。このタブレット型パソコンの使用ルールについては、町教育委員会より「二宮町タブレットパソコン活用ルール」が配布され、生徒全員に指導をしています。

様々な可能性を秘めた、ICT教育の今後の展開に期待しています。



意見を打ち込んで



テレビ画面で共有します



理科の実験の様子を撮影

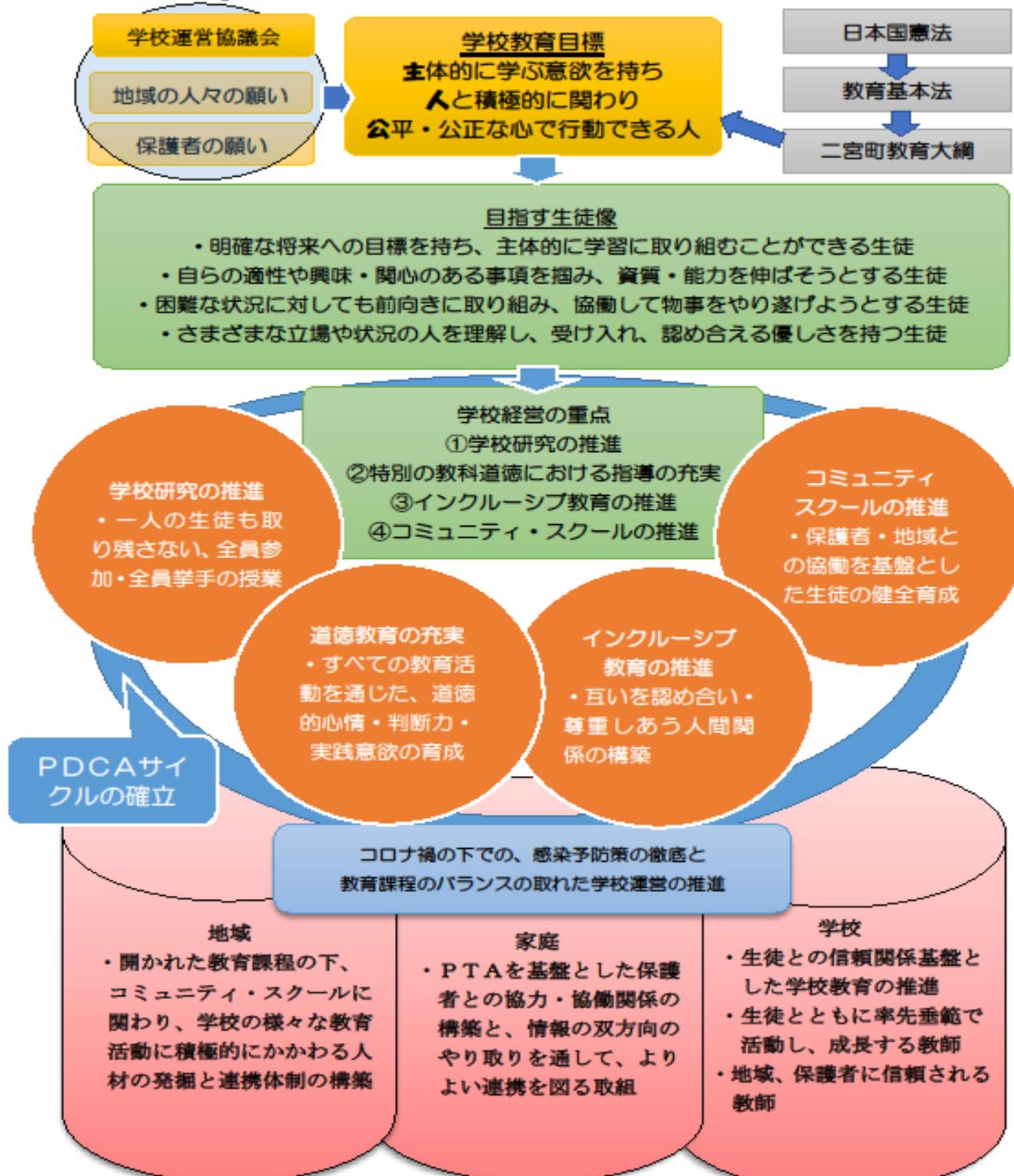


生徒総会の様子



議案書もパソコン上で閲覧します

令和3年度 二宮町立二宮中学校グランドデザイン



◎令和3年度二宮町立二宮中学校学校グランドデザインです。学校教育目標を中心に、目指す生徒像、学校経営の重点、地域・家庭・学校との関わりについてまとめてあります。ホームページにも掲載します。

◎学校運営協議会【コミュニティスクール】の活動について

令和3年度第1回目の学校運営協議会が5月17日(月)に開かれました。今年度も藤原直彦会長の下、地区長、保護者代表、地域住民代表、社会教育関係者、学校関係者が地域と学校が協働して生徒の健全育成を図るための具体的な活動について協議を行いました。また、今年度から地域学校協働本部が立ち上げられ学校運営協議会と二人三脚でコミュニティ・スクールの運営に携わることとなりました。地域学校協働本部とは様々な地域の人的資源を学校にコーディネートする役割を果たします。

令和3年度は今までの活動を踏襲しつつ「教育班」(学習支援担当)「設備班」(学校修繕等担当)「イベント班」(多文化デー等担当)に分かれて活動を行う予定です。ご支援の程よろしくお願い致します。